

2019年3月28日
 サンコール株式会社
 フィンガルリンク株式会社

**サンコール フィンガルリンク
 歩行訓練支援機器（装着型アシストロボット）「KAI-R」を発売**

サンコール株式会社（本社：京都 社長：大谷 忠雄 以下サンコール）は、フィンガルリンク株式会社（本社：東京 社長：名郷根正昭 以下フィンガルリンク）と共同で開発した、歩行訓練支援を目的とする人体装着型機器「KAI-R（カイアール）KR-1000」を、フィンガルリンクを通じて発売します。

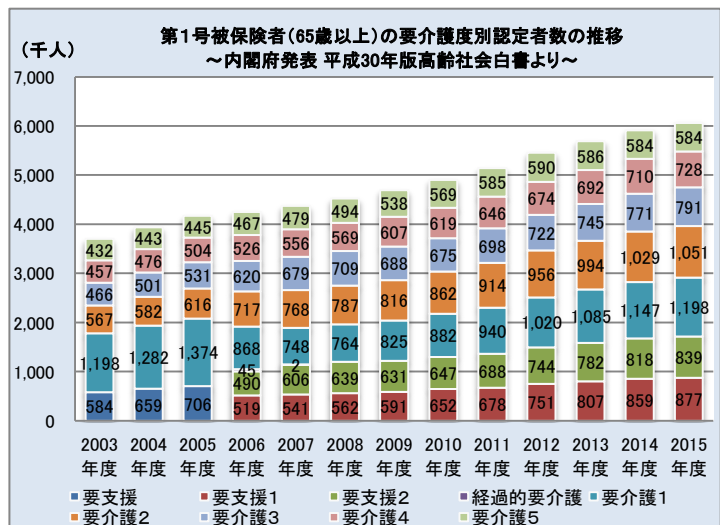
本機器は、医療機関やリハビリ施設などで行われる歩行訓練において補助的に使用するもので、装着者の歩行状態をセンサで把握し、各々の状態と、あらかじめ設定した歩行補助パラメータに応じてモータ出力することにより、指導者の意図した歩容に装着者を誘導します。



【開発の背景】

本格的な高齢化社会を迎え、様々な要因により歩行に支障のある高齢者は、今後ますます増加すると予想されています。医療機関やリハビリ施設などで行われる歩行訓練は、歩行機能の維持に有効ですが、その一方で増加する歩行訓練に対する指導者の負荷軽減が課題となっています。

一般的な歩行訓練における問題点として、関節の曲げ角度、踵部の高さ、足の運び方などの口頭による指導は、意図が伝わりにくい実情があります。



“第1章第2節高齢期の暮らしの動向”，平成30年版高齢社会白書、内閣府より引用

https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2018/zenbun/pdf/1s2s_02_01.pdf

また、指導者が訓練者の足を持ち上げて足の運び方を指導することは、しゃがんだ体勢を強いられるために足腰への負担が大きいと言われていました。

そこで、訓練者の膝の曲げ伸ばしや腿上げ等を指導者に代わって補助して、指導者の意図した歩容へと誘導する歩行訓練支援機器を開発しました。

【本機器の特長】

1. 装着者を指導者の意図した歩容に誘導するアシスト機能

本機器には、次のアシスト機能が搭載されています。

- ① 屈曲アシスト 膝を屈曲させるアシスト機能
- ② 腿上げ運動誘導 股関節の屈曲を促す機能
- ③ 伸展アシスト 膝を伸展させるアシスト機能

これらのアシスト機能は、アシスト角度やパワーなどをあらかじめ装着者に合わせた設定にすることで、指導者の意図した歩容に誘導することが可能です。

2. 片足装着・軽量・簡単装着

本機器は片足に装着することが特長で、訓練したい脚のみに装着して使用します。

総重量は 4.4kg と軽量に仕上がっており、また、歩行状態を検出するセンサ類はすべて機器に内蔵されているため、着衣の上から装着が可能です。

これらの特長により、装着時間は 3 分程度で、貴重な歩行訓練の時間を有効に活用することが可能です。

3. 左右兼用

片足機器は一般的には右用/左用を専用に準備する必要がありますが、本機器は左右切替機構により、1 台を左右どちらの足にも装着することが可能です。

このため、導入コストを抑えることが出来ます。

【本プレスリリースおよび製品についてのお問い合わせ先】

製造元

サンコール株式会社

電話：075-881-8111

お問い合わせフォーム：<https://www.suncall.co.jp/form/>

【販売についてのお問い合わせ先】

販売元

フィンガルリンク株式会社

電話：03-6802-7145

E メール：info@finggal-link.com

以上